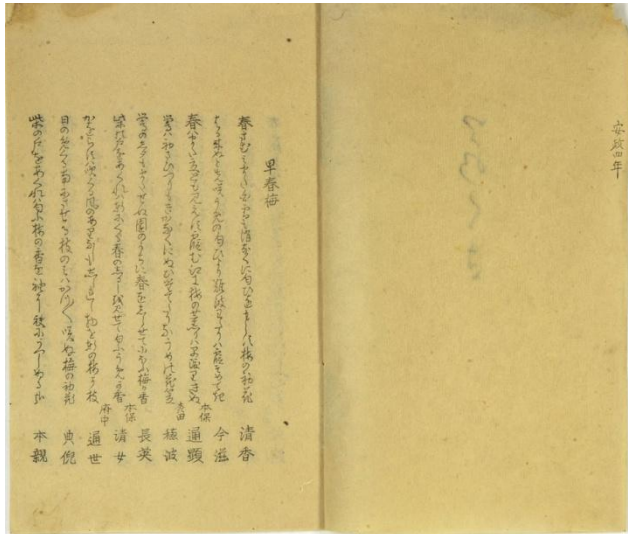
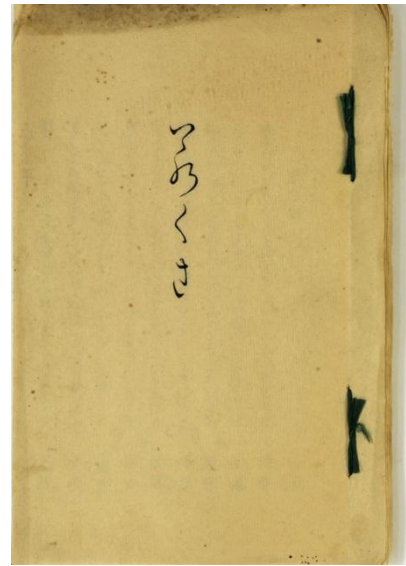


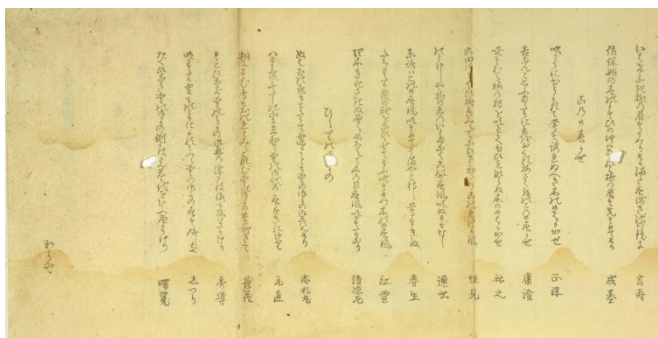
橘曙覧関連歌集



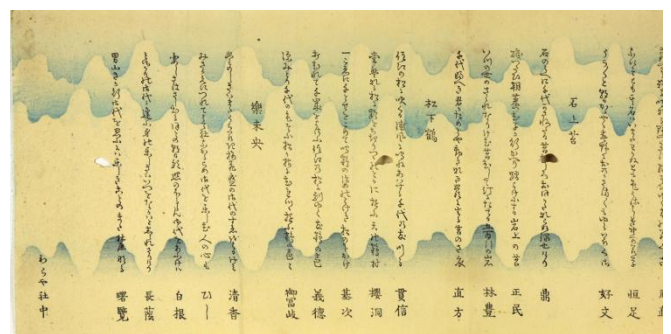
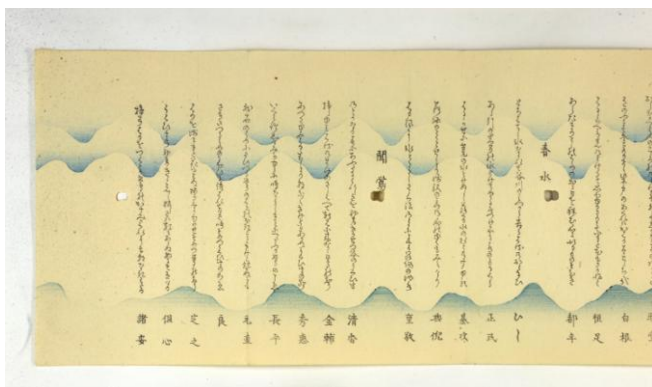
(1) 安政4年(1857) 『若くさ』



(2) 安政3年(1856) 『若くさ』



(3) 嘉永7年(1854) 『嘉永^{きのえとら}甲寅月次初会之哥』



(4) 嘉永 6 年 (1853) 『嘉永 ^{みずのとうし} 癸 丑 月次初会之哥』 (5) 嘉永 5 年 (1852) 『嘉永 ^{みずのえねつきなみ} 壬 子 月次初会之哥』

注1 『嘉永癸丑月次初会之哥』には、蘭方医で、種痘を全国に広げた笠原良策（白翁）の歌が掲載されている。

「さきいつ(づ)る うめのにほひに誘はれて けさ鳴そめつ うく(ぐ)いすのこゑ」

注2 現・舟津神社宮司の橋本政宣氏の4代前にあたる橋本政貞が著した歌集『藤原政貞詠草』には、嘉永6（1853）年8月16日に葦舎（わらや）に集まり歌を詠んだとの記録がある。